

サマーセミナー活動報告書

東京商工会議所女性会では、4委員会合同のサマーセミナーを開催いたしました。今年度は日本の重要政策課題の一つである、少子化問題にスポットを当て、三部形式で下記の通り実施いたしました。

日 時： 平成 28 年 7 月 21 日（木） 14 時～18 時 30 分
会 場： ホテルグランドパレス
参加者： 101名

【第一部 講演会】

講師：株式会社ニッセイ基礎研究所 研究員 天野 馨南子 氏



講師 天野 馨南子 氏

<略歴>

1995年東京大学経済学部卒業、日本生命保険相互会社入社、1999年株式会社ニッセイ基礎研究所出向。研究・専門分野は女性活躍推進・少子化対策。育児、介護、不妊治療等を経験。執筆活動とともに、全商女性連をはじめ各地女性会等でも講演実績多数

女性の社会進出・子育て支援を中心とする我が国の少子化対策において忘れられがちなのが、妊娠・出産に生物学的な年齢の限界があり、高齢での出産は胎児のみならず母体にも、大きなダメージを与えるハイリスクなものである、という視点です。

講師の天野氏は、この点について警鐘を鳴らし、「産めるうちに出産を」「その上で出産後のキャリア形成を可能にする多様な働き方を浸透させるべき」という考え方を提唱されています。特に中小企業については、従業員の大企業に比べ機動性が高いという強みがあること、女性経営者だからこそ女性従業員の出産とキャリア形成の悩みに、タブーなく向き合っていってほしい、という助言も頂きました。



講演会：真剣に聞き入る参加者

【第二部 パネルディスカッション】

- パネリスト : 株式会社アルバ・パートナーズ 代表取締役 竹内 明日香
帝国製薬株式会社 代表取締役社長 藤岡 実佐子
株式会社とらうべ 代表取締役社長 南部 洋子
- コメンテーター : 天野 馨南子 氏
- モデレーター : 株式会社麻布タマヤ 代表取締役 志賀 律子

パネルディスカッションでは、山崎会長から「産みたいときに産むのではなく、産めるときに産むという、天野様のお話の通り、20代で産むことが望ましい。若い男性と女性を早く結婚させよう会を女性会として推していきたいと思っている。さらに30歳までに子供を産み、35歳から就活をし、企業は35歳から受け入れる体制を作るよう、私達経営者が力になっていきたい」とご挨拶がありました。

「女性経営者による少子化問題の課題と取り組み」について、一時間半にわたり、多様な論点に関して充実した議論が行われました。

竹内氏からは、長時間労働の是正と女性の柔軟なキャリア形成を支援していくべきこと、南部氏からは、女性が産める年齢がいつなのかという正しい知識を持って、その上で、産むか産まないか・いつ産むかを本人が選択できる世の中にしていくべきこと、藤岡氏からは、仕事と子育てはどちらか一つを選ぶものでなく、どちらも選べるはずのものであり、そのための物理的・経済的・心理的サポートを得られる社会にすべき旨の、力強いメッセージを頂きました。



会長 山崎 登美子



モデレーター
志賀 律子 理事



パネリスト (左から)
竹内明日香 会員、藤岡実佐子 監事、南部洋子 会員

【第三部 懇親会】

懇親会では、着席形式での美味しいディナーとともに、久々にお会いした皆様と会話を楽しみました。また、新入会員への突撃インタビューもあり、新入会員は突然のインタビューに戸惑いながらも、立派に自社PRをされました。終始和やかに、和気あいあいと親睦を深めることができました。

以上



懇親会 : 会話を楽しむ参加者